

## 「若者や女性にも選ばれる地域づくり、分散型社会の構築」の概要

若者や女性にも選ばれる地域づくり、分散型社会の構築

### (1) 主旨

- ・人口減少問題は喫緊の課題であり、今後も時代や政治が変わったとしても国を挙げて息の長い一貫した取組が求められる。
- ・人口戦略の要は、若者・女性にも選ばれる地方づくりと、産官学金労言の各界各層と一体となった国民的運動を巻き起こすことである。
- ・併せて、都市部・地方部ともに発展できる分散型社会の構築についても有識者の意見も交えて議論を深めたい。

- ・幅広いテーマであるため、特に以下の内容に焦点を絞って、われわれ都道府県知事が今後取り組むべき内容について議論するとともに、人口減少対策を一貫してやり通すというメッセージを示したい。

- ①若者や女性にも選ばれる地域づくりについては、特に「魅力ある働き方・職場づくり」や「固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（いわゆるアンコンシャス・バイアス）に解消」について議論する。
- ②分散型社会の構築については、特に「企業・大学の機能移転」について議論する。

(1) 有識者 白河 桃子 昭和女子大学 客員教授、iU 大学（情報経営イノベーション専門職大学）特任教授、千里金蘭大学 客員教授、ジャーナリスト、作家

増田 寛也 株式会社 野村総合研究所 顧問

人口戦略会議 副議長

※増田氏はリモート参加予定

(2) 全国知事会 鳥取県知事 (座長)

参加希望知事 10 名程度を想定

#### 4. 進行概要（案）

（計 120 分）

| 時間   | 内容      |                                |
|------|---------|--------------------------------|
| 5 分  | 開会・趣旨説明 | 座長（平井知事）                       |
| 40 分 | 話題提供    | 有識者 2 名×各 20 分                 |
| 70 分 | 意見交換    | ・ 参加知事から発言および自由討議<br>・ 有識者コメント |
| 5 分  | 総括・閉会   | 座長（平井知事）                       |

# 全国知事会議 セッション「持続可能な地域づくり」の概要

## 1. テーマ（案）

持続可能な地域づくり

～インフラ施設の強靱化・老朽化対策・統廃合/民間活力/広域連携/人材育成/  
デジタル技術の活用をキーワードとして～

## 2. テーマ設定

### （1）趣旨

地方においては、人口減少社会の進行に伴い、持続可能な地域づくりにおいて多様な課題に直面している。以下のキーワードを論点として、持続可能な地域づくりに関する様々な分野の課題解決に向け、有識者意見や取組事例も含め、多角的な視点から議論を深める。

- ① インフラ施設の強靱化・老朽化対策・統廃合
- ② NP0 や PPP/PFI 等の民間活力の活用
- ③ 市町村や都道府県等による広域連携
- ④ 地域社会、地域経済を維持・発展させるための人材確保・育成
- ⑤ デジタル技術の活用

### （2）議論の方向性

- 取組の方向性・課題・都道府県に求められる役割等について議論し、有識者意見や事例を共有することにより、持続可能な地域づくりに向けた各都道府県の施策の推進に繋げる。
- 議論において、国に対応を求めるべき課題等が明らかになった場合は、要望活動等により実現を図る。

## 3. 参加メンバー（案）

- （1）有 識 者 難波 悠 氏(東洋大学大学院 経済学研究科 公民連携専攻 教授)  
竹内 春華 氏(山古志住民会議代表)

- （2）全国知事会 新潟県知事(座長)  
参加希望知事 10 名程度を想定

## 4. 進行概要（案）

(計 120 分間)

| 時間   | 内容         |                            |
|------|------------|----------------------------|
| 5 分  | 開会・趣旨説明    | 座長                         |
| 30 分 | 話題提供（事例紹介） | 有識者                        |
| 70 分 | 意見交換       | 参加知事から各都道府県の取組事例、課題等について発言 |
| 10 分 | 有識者コメント    | セッション全体を通じたコメント            |
| 5 分  | 総括・閉会      | 座長                         |

# 全国知事会議 セッション「多文化共生」の概要

## 1. テーマ（案）

多文化共生（外国人の受入と多文化共生社会の実現）

## 2. テーマ設定

### （1）主旨

昨今、国内産業の人材不足の現状から我が国に在留する外国人は、大幅に増加している。そうした中、国において「技能実習制度」の見直しが行われ、令和9年には「育成就労制度」が開始される見込みである。

外国人の受入と共生が、地方の活力や成長の原動力に繋がるよう、育成就労制度の適切な運用とともに外国人の受入環境整備等が必要である。

外国人の受入と共生に係る諸課題は、今後、日本の全ての地域に関わるべき重要なものであることから、有識者を交えた議論を行い、外国人の受入と多文化共生社会の実現に向けた理解を深める。

### （2）議論の方向性

有識者の知見や各地の課題や事例を共有することで、多文化共生施策などにかかる取組の充実や国への働きかけなどにかかる連携を図る。

## 3. 参加メンバー（案）

### （1）有識者 2名（予定）

（育成就労制度：是川夕様 / 多文化共生：山脇啓造様）

### （2）全国知事会 静岡県知事（座長）

参加希望知事 10名程度を想定

## 4. 進行概要（案）

（計 120 分）

| 時間   | 内容      |                             |
|------|---------|-----------------------------|
| 5 分  | 開会・趣旨説明 | 座長                          |
| 40 分 | 話題提供    | 有識者（1人20分程度想定）              |
| 70 分 | 意見交換    | ・各知事から発言および自由討議<br>・有識者コメント |
| 5 分  | 総括・閉会   | 座長                          |

# 全国知事会議 セッション「農林水産物の輸出拡大」の概要

## 1. テーマ

農林水産物の輸出拡大 ～「海外から稼ぐ力」の強化に向けて～

## 2. テーマ設定

### (1) 主旨

- ・ 我が国の人口は平成 20（2008）年をピークに減少に転じており、今後も人口減少や高齢化により国内の食市場が縮小する中、農林水産業・食品産業の事業基盤の維持・強化を図るためには、成長する海外の食市場を取り込み、インバウンド需要や外国人への日本食の普及を活かし、輸出拡大を図ることが重要である。
- ・ 令和 6（2024）年には、我が国の農林水産物・食品の輸出額が 1.4 兆円となったものの、今般の米国の追加関税措置を踏まえ、輸出先の多角化や輸出先国・地域の規制など、輸出の課題に国と地方がスクラムを組んで対応していく必要がある。
- ・ 本セッションでは、農林水産物等の輸出拡大に向けた輸出先の多角化など、「海外から稼ぐ力」の強化策について、有識者を交えて議論を深め、その施策について意見交換する場としたい。

### (2) 議論の方向性

- ・ 輸出産地づくりへの支援
- ・ 輸出先の多角化等の販路開拓・拡大への支援

## 3. 参加メンバー

- (1) 有識者      株式会社日本農業 代表取締役 CEO 内藤祥平氏  
株式会社ウーケ 代表取締役社長 花畑佳史氏
- (2) 全国知事会 新田八朗富山県知事（座長 農林水産物輸出拡大 PT リーダー）  
参加希望知事 10 名程度を想定

## 4. 進行概要

| 内容（計 120 分） |                          |
|-------------|--------------------------|
| 開会・趣旨説明     | 座長挨拶、テーマの趣旨説明            |
| 話題提供        | 有識者紹介、講演（人選、テーマなど調整中）    |
| 意見交換        | 各知事から発言（取組事例紹介等）、有識者コメント |
| 総括・閉会       | 総括                       |